

「あいさつでみんな笑顔に・・・」

校長 安藤 徹



1学期も残すところあと3週間ほどとなり、そろそろ1学期の振り返りをする時期となりました。しかし、岩戸支援学校の生徒の1学期はまだまだ終わりません。というのも、7月10日から12日までの3日間、B部門3年生のみなさんの修学旅行が予定されているからです。



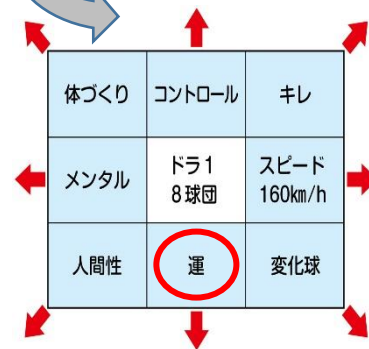
約5年ぶりの2泊3日の修学旅行で、目的地も長野県そして黒部ダムのある富山県方面と、ここ数年では一番遠方となります。長時間のバス旅とはなりますが、夏休みを前にそれぞれの人の記憶に残る修学旅行となることを期待しています。みなさん良い思い出をたくさん作ってきてくださいね。(私も同行します・・・)

ところで、4月の入学式でも始業式でも生徒のみなさんに「岩戸支援学校のなかまとしてみんな元気にあいさつをしましょう」と話をしたことは覚えていますか？今回はその「あいさつ」について少しお話をしたいと思います。

今や日本人であればいや世界中でも知らない人はいないというくらいに「超」有名人となったアメリカ・ロサンゼルスドジャースの大谷翔平選手ですが、彼が岩戸支援学校の生徒の皆さんと同じ15~6歳の高校生ごろ、将来の目標として「野球のドラフト会議で8球団から1位の入団指名を受ける」という目標をたてたそうです。その時に彼が実際に考えた『マンダラチャート』が右の図です。

大谷翔平が花巻東高校1年時に立てた目標達成表

マンダラチャートというのは、9×9 マスの 81 のマス目からなる、思考・発想のためのフレームワークです。目標達成のために必要なことをもれなく洗い出し、整理し、行動を具体化することができるというメリットがあるといわれています。最近テレビでも見ましたが、このマンダラチャートを使って目標達成にむかうことは野球部や大谷選手だけでなく、彼の出身校である花巻東高等学校全校生徒の伝統となっているということです。



あいさつ	ゴミ拾い	部屋そうじ
道具を大切に使う	運	審判さんへの態度
プラス思考	応援される人間になる	本を読む

さらに右上のマンダラチャートにあげた「運」つまり「運を味方につける」ためには彼は8つの具体的な行動が必要だと考えたわけです。それが左の図になります。その8つの要素に共通していること・・・何かわかりますか？実は大谷選手は高校生の時にすでに運を味方につけるためには、「自分の周りの人を笑顔にするようなことをすれば自分の運もよくなる」と考えたのです。

そして、注目していただきたいのはその8つの行動の中に、「あいさつ」が入っていることです。大谷選手はあいさつをすることでまわりの人を笑顔にすることができると思ったのです。私もいつもそう思っています。笑顔であいさつされると、あいさつされた人もなぜか笑顔になります。

ですから、「あいさつ」には不思議な力、まわりの人を笑顔にして元気にする力があるのです。4月ころに比べると、岩戸支援学校の生徒のみなさんのあいさつする力も確実にアップしています。これからもお互いに気持ちよくあいさつしましょう。

令和6年7月1日